

氷川神社
社報 第二十六号

武蔵一宮



第一鳥居改修竣功祭齋行

五月二十三日、第一鳥居の改修竣功祭を行いました。改修工事にあたっては、サイカンシステム(株)の記念事業として建設費の奉納を頂きました。

竣功祭は総代会長の 大野隆司様、サイカンシステム(株)代表取締役社長の 和田浩明様、設計管理の(株)日本建築工芸設計事務所所長の 松島義和様、施工の(株)渋谷代表取締役会長の 渋谷守浩様、同じく施工の(株)利工社代表取締役の 菊池利光様他関係者十九名参列のもとに斎行致しました。

祭典終了後にはくぐり初め式を行い、サイカンシステム(株)様からは奉納目録が、神社からは感謝状が贈呈されました。御参列の皆様には記念品として、北沢楽天が一の鳥居建立の様子を描いた掛軸の絵を使用した手拭いを進呈致しました。



昭和三十年竣功時の様子

左の写真は昭和三十年の一の鳥居建立後の竣功祭のもので、北沢楽天により一の鳥居修営の様子が描かれ、掛軸として残っています。



耐震構造検査結果

この第一鳥居は昭和三十年に建立されたものですが、約七十年経つ事から昨年に耐震構造検査を行ったところ、柱の地中埋設部分が腐っており、地震で倒壊する危険がある事がわかりました。

鳥居の屋根の部分である笠木や貫は銅板も含めて健全でしたので、柱を新しく再建する改修工事を行う事となりました。

尚、この鳥居の部材は当初、全て檜と思われていたのですが屋根は杉材、それ以外は樺であった事がわかりました。また、笠木の裏側には明治四十四年建立の墨書がありました。これは明治四十四年に三の鳥居として建立された時の記録を、一の鳥居として移築した後に鳥居の記憶として屋根の下に収めたという事です。



製材と組み立て

新しい柱の部材は米ヒバです。この柱を八角、次に十六角に削り最終的に丸柱にしました。祭神名や起工・竣工日、施工会社名などを記した棟札は、笠木の中に収めております。



祭事暦

当社では毎日の日供祭をはじめ年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穰と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

四月 一日 月次祭

三日 神武天皇祭通拝式

五日～七日 鎮花祭

九日 埼玉県護国神社例祭

十五日 献詠祭(兼題 春日和)

二十九日 昭和祭

五月 一日 月次祭

五日 祝子祭

九日 御鎮座祭

十五日 献詠祭(兼題 母の日)

二十一日 道饗祭

六月 一日 月次祭

五日 粽神事

十五日 献詠祭(兼題 雨蛙)

天皇皇后両陛下御渡航

行幸啓安泰祈願祭

三十日 大祓式

茅の輪設置期間

六月十七日～七月二日

御創建二千五百年祭に向けて奉賛崇敬会準備委員会発足



大野埼玉県知事御挨拶



御鎮座祭 祭典前の修祓



準備委員会会議



御鎮座祭 齋主一拝

五月九日、御創建二千五百年祭奉賛崇敬会の準備委員会が行われました。御鎮座祭に参列後、一の家に会場を移し会議を開催し、埼玉県知事大野元裕様、さいたま商工会議所会頭池田一義様、武蔵野銀行頭取長堀和正様をはじめ奉賛崇敬会の役員予定者の方々が出席をされました。令和十年の氷川神社御創建二千五百年祭に向けて奉賛崇敬会の立ち上げや、記念事業、奉賛活動について今後計画して参ります。



玉串を捧げる大野総代会長

社頭往来①

大宮剣道連盟演武

四月二日午後二時、大宮剣道連盟七十周年を記念し、大宮剣道連盟中村好一会長他演武者が正式参拝を行いました。舞殿では、打太刀教士七段森田哲也氏、仕太刀五段逸見厚志氏による日本剣道形が奉納されました。かつて境内で実施の剣道大会は大宮武道館で実施、さいたま市内の小・中学生による「氷川神社奉納春季剣道大会」が開催されました。



大成神楽

四月七日、神楽殿にて大成三丁目囃子連による里神楽の奉納が行われました。



埼玉県茶道協会 春の茶会



五月三日、埼玉県茶道協会春の茶会が開催され、さいたま市長清水勇人様他、県内外から約三百五十名の参加者がありました。

茶席 裏千家 堀江宗栄

表千家 田中宗晴
大日本茶道学会
島村章仙

大宮盆栽ウィーク

五月四・五日、大宮盆栽ウィークと題し、さいたま市主催のおみや盆栽春まつりが開催され、参道には盆栽展示やワークショップ開催、キッチンカーの出店がありました。また五月三日から五日には大宮盆栽村おもてなしイベントとして神社西駐車場と大宮駅東口、土呂駅東口を結ぶ無料シャトルバスが運行されました。



本殿模擬拳式 総合展示会

五月七日、本殿にて十時と十四時半に模擬拳式を行いました。また、社務所では婚礼衣装などの総合展示会や新規相談会を開催致しました。



世話人研修旅行

五月十・十一・十二日、三班に分かれ日帰りで世話人研修旅行を実施致しました。四年ぶりとなる本年は茨城県に鎮座する筑波山神社を正式参拝、JAXA 筑波宇宙センターなどを見学致しました。



社頭往来②

大宮新能

五月十二日、十三日、舞殿にて公益社団法人さいたま観光国際協会主催の第四十二回大宮新能が開催されました。

奉納演目

五月十二日(金)

素謡(金春流)翁 金春憲和

狂言(和泉流)舟渡智 野村万作

能(観世流)杜若 藤波重彦

五月十三日(土)

素謡(金春流)翁 金春安明

狂言(和泉流)呼声 野村萬斎

能(金春流)巴 前 本田光洋

後 本田芳樹



写真提供：さいたま観光国際協会

小笠原教場百々手式

五月十三日、弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家小笠原清忠様主催の、墓目の儀並びに百々手式が小笠原教場会員約三十名により奉納されました。



特別紙朱印「ほたる」



左は画家の、はせがわいさお氏のデザインです。

五月二十日より数量限定の特別紙朱印「ほたる」の授与を開始、六月十八日に終了致しました。

ほたるの会清掃奉仕

五月二十一日、氷川ほたるの会会員により神池及び水路周辺の清掃が行われました。



大日本茶道学会茶会



五月二十八日、勅使館及び呉竹荘にて、大日本茶道学会埼玉県支部連合会主催のお茶会が開催され、県内外から約二百二十名の参加者がありました。

- 濃茶 杉戸支部
- 薄茶 春日部支部
- 立礼 浦和支部

敬神婦人会 春の旅

五月二十九日、敬神婦人会の春の旅を実施、中村明子会長他四十九名が参加し三嶋大社を正式参拝致しました。



社頭往来③

螢放生祭 螢鑑賞会

六月三日、舞殿にて螢放生祭を行い、氷川ほたるの会員により神池にゲンジボタル約千二百頭が放されました。鑑賞会は三日、四日に行われ、あわせて参道では氷川マルシェが開催されました。



裏千家献茶式



六月四日、裏千家淡交会埼玉県支部による献茶式が執り行われました。御神水で湯を沸かし、御家元名代伊住宗禮様の御奉仕にて神前に濃茶、薄茶が奉納されました。

埼玉県連若鷲会創立五十周年

六月四日、埼玉県連若鷲会の五十周年記念として正式参拝が行われました。県内各地から集した鳶職の方、約百四十名により参拝前に木遣りや纏が行われ、参拝後にはしご乗りが行われました。



特別紙朱印「茅の輪くぐり」
茅の輪守授与開始

六月十七日、茅の輪設置にあわせ特別紙朱印「茅の輪くぐり」並びに茅の輪守の授与を開始致しました。



特別紙朱印「茅の輪くぐり」は7月1日授与終了

さいたま市職場体験

さいたま市職場体験事業「未
来くるワーク体験」として、六
月二十六日から二十八日まで、
さいたま市立桜木中学校の生徒四
名を受け入れました。境内清掃
やお札やお守りの授与の他、最

終日には舞殿にて豊栄の舞を奉
納頂きました。



書元会書道廻廊展示

六月二十九日から七月二日ま
で例年、大祓式に合わせ展示さ
れる書元会による書道の廻廊展
示が行われました。今回は小学
一年生から中学三年生までの会
員の作品で「いけ」、「ねがい」
、「ふですみ」、「手をうつ」、「字を
書く」、「神社の森」、「日本神話」
、「神話伝説」が兼題となりました。



関東大震災から一〇〇年 神社の被害と大宮に起きた変化

大正十二年(一九三三)九月一日午前十一時五十八分に発生した関東大地震はマグニチュード7.9と推定される、近代化した首都圏を襲った唯一の巨大地震であり、南関東から東海地域に及ぶ地域に甚大な被害が発生しました。死者十萬五千三百八十五人、全潰全焼流出家屋二十九萬三千三百八十七棟に上り、電気、水道、道路、鉄道等のライフラインにも甚大な被害が発生しました。



一の鳥居として移築される三の鳥居



石造の一の鳥居



手水舎(再建はされておりません)



大正末頃の神橋

当社においては、石造の明神鳥居であった一の鳥居が損壊したため撤去、また手水舎が倒壊、神橋が破損するなど被害がありました。参道入口は十年ほど鳥居がありませんでした。昭和九年に片倉製糸紡績(現 片倉工業)より三の鳥居が奉納された事から、それまで三の鳥居であった鳥居を移築し一の鳥居としました。尚、この時の一の鳥居は老朽化が進んだため、昭和三十年に新しく建て替えられました。神橋は全体が大きく歪み、橋と石垣の間に来た隙間に応急処置を施しました。現在の神橋は昭和初期に架けられたものです。(古絵葉書集『氷川の杜を訪ねて』より)

盆栽のまち大宮の誕生

かつて、東京の団子坂(文京区千駄木)周辺には、江戸の大名屋敷などの庭造りをしてきた植木職人が多く住んでおり、明治になってから盆栽専門の職人も生まれました。関東大震災で大きな被害を受けた盆栽業者が、壊滅した東京から離れ、盆栽育成に適した土壌を求めて大宮へ移り住みました。大正十四年には彼らの自治共同体として大宮盆栽村が生まれ、最盛期の昭和十年頃には約三十の盆栽園がありました。大宮盆栽村は、いまでも名品盆栽の聖地として知られ、日本だけでなく世界から多くの愛好家が訪れています。昭和十五年に旧大宮市に編入されてからは、世界にも例の少ない行政上の『盆栽町』と言う町名に生まれ変わりました。

大宮盆栽村 大盆栽まつり(5/3~5/5)

写真提供:さいたま市観光国際課



大宮盆栽ウィークと題し、大盆栽まつりが盆栽村で行われ、盆栽村の各園は大勢の観光客で賑いました。



(左) 細沼武彦様
(右) 宮崎寛幸様

長らく氏子青年会会長をお務め頂きました細沼武彦様の御勇退記念事業として、天津神社前に記念植樹(紅葉)を行いました。

氏子青年会記念植樹



四月の奉納献華

古流松藤会
池坊
草月流
桂古流

岩波理豊
草谷智花
沖山草俊
小林華侑

桂古流
桂古流
草月流
正風流一光会

川嶋理智
高橋典花
竹下尚峰
桐生一光



新たな氏子青年会会長は有限会社宮善商店代表取締役の宮崎寛幸様です。氏子青年会の皆様には、神幸祭や節分祭撒豆式に御奉仕を頂く他、諸祭事に御協力を頂いております。



五月の奉納献華

古流松藤会
草月流
桂古流
古流松藤会

岩波理豊
沖山草俊
小林華侑
川嶋理智

桂古流
正風流一光会
春草流

高橋典花
桐生一光
栗原春彩

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。
(五十音順、敬称略)

- 阿含宗埼玉道場
- ウエルビーチャレンジ
- 大宮東口センター
- 大宮明るい社会づくりの会
- (株)シグマスタッフ
- クラーク記念国際高等学校
- 高鼻町二丁目自治会
- 高鼻町二丁目友の会
- みずほ証券(株)
- 武蔵コーポレーション(株)



六月の奉納献華

古流松藤会
草月流
桂古流
桂古流

岩波理豊
沖山草俊
小林華侑
高橋典花

草月流
正風流一光会
春草流

竹下尚峰
桐生一光
栗原春彩

正式参拝及び諸会議	
四月 二日	大宮剣道連盟
十二日	敬神婦人会監査会
十三日	北足立郡市総代会
十四日	北足立郡市総代会役員会
十四日	埼玉県神社庁北足立支部
十六日	埼玉県神社庁北足立支部役員会
十七日	武蔵菊花会菊作り研修会
十七日	京所青年会(大國魂神社)
十七日	皇光道柔術
二十一日	古河ロータリークラブ
二十七日	敬神婦人会
二十七日	敬神婦人会総会
五月 二日	氏子青年会監査会
十二日	新能会議
十三日	大宮新能関係者
十三日	大宮新能関係者
十四日	小笠原流教場
十四日	武蔵菊花会菊作り研修会
十五日	クラブツーリズム
十五日	全国PHP友の会
二十日	水川雅楽会総会
二十日	氏子青年会
二十二日	氏子青年会総会
二十四日	監査会
二十四日	責任役員会
二十四日	敬神講社理事会
四月 四日	氏子総代会並評議員会
六月 三日	如月会
六月 三日	氷川マルシェ
六月 四日	中野島稲荷神社(神奈川県)
六月 十一日	鎮花祭奉仕者
六月 二十七日	氏子総代会
六月 三十日	毎日興業(株)

(敬称略)

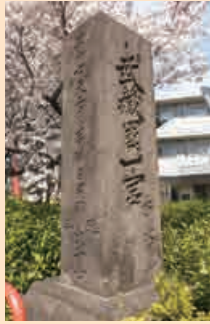
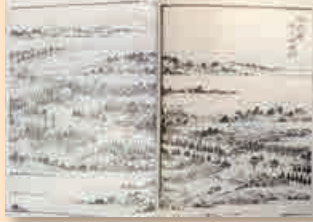
江戸幕府と氷川神社 氷川参道

江戸幕府が大宮で行った造成事業の中に、寛永五年（二二二八）幕府の代官伊奈忠治により行われた中山道の付け替え（往還替え）があります。それまでの元往還（古中山道）を西側の原野に付け替え、現在に至る大宮の町がつけられました。のちに神社から新往還（中山道）に向けて直線の参道が開かれ、新たな参詣道となりました。

当初、北原村、本村、甚之丞新田、右衛門八分、新宿仲町、新宿下町、吉鋪新田の七つの組で構成された大宮宿は、のちに宮町、大門町、新宿仲町、新宿下町、吉鋪町の五町で運営される事になります。大宮は周辺のみならず遠隔地を結ぶ道の交差点点であったため、大宮宿は氷川神社の門前町でもあり、伝馬宿でもありました。

江戸時代の神主が記録した東角井家の日記に徳川御三家や加賀前田家などの殿様が中山道を通行するときには、表参道や裏参道の鳥居先で出迎えるのが通例と記述されておりました。

左図は江戸周辺の名所を挿絵と文章で紹介する『江戸名所図会（国立歴史と民俗の博物館蔵）』です。



一の鳥居脇には江戸時代中期の書家である佐々木文山揮毫の標石が建っています。

分社紹介 高円寺氷川神社 ー日本唯一の気象神社を境内に祀るー

鎮座地 東京都杉並区高円寺南四一四四一一九

由 緒 江戸名所図会によれば、その昔、源頼朝による奥州征伐時に、武蔵国杉並の地に至り給り際、隋兵の中に高円寺村にとどまり、終に農民となる者あり。一説によれば、村田兵部粟云々ともいわれ（因みに村田姓は高円寺の旧家なり）、その時、武蔵国大宮高鼻の本社よりの御神意の使者が同氏に伝え、この高円寺村の位置高く採松杉繁多し遠く木田を望みて風致絶佳とされる当地に社殿を建立したのが起源といわれている。従って農業の神とされている。大正六年八月十五日編纂の東京府豊多摩郡神社誌によれば、当社は古来、高円寺村小名原の鎮守にして旧時曹洞宗高円寺別当職として奉仕せり。高円寺は往年数回々禄の災いあり。旧記を焼失して社伝明らかならずるも口碑によれば、天文の頃、高円寺創建と同時に瓶記されたものなりと云う。明治維新後、別当職を廃し、明治七年四月三日、社格を村社に被定し、同四年五月四日、神饌幣帛料供述神社に列し、同四年十二月二十六日、会計規則適用方指定せられたり、太平洋戦争後、即ち昭和二十年八月十五日以降は宗教法人氷川神社となり現在に至る。

気象神社は昭和十九年四月、大日本帝国陸軍の陸軍気象部の構内に造営。戦後撤去されるはずも調査漏れにより残存。先々代宮司が受入れ、同地に遷座された。（高円寺氷川神社ホームページより）



御祭神 素盞鳴尊



気象神社 御祭神 八意思兼命



東角井光臣宮司が揮毫した掛軸

邸内社
―企業の守り神として―



② 大宮市場 魚市場氷川神社
さいたま市北区吉野町2-226-1



① (株)アルシエ 氷川神社
さいたま市大宮区桜木町2-1-1



④ 日本製罐(株) 稲荷神社
さいたま市北区吉野町2-275



③ (株)桐徳 稲荷神社
さいたま市大宮区堀の内町1-697



⑤ 北西酒造(株) 松尾神社 稲荷神社
上尾市上町2-5-5

神社は共同体の守り神として信仰されていますが、開運招福や病
気平癒などの個人的な祈願も行われます。それらは、もともとは仏
教でいう現世に受ける利益を示す「現世利益(げんぜりやく)」に由
来した御利益として考えられています。御利益を願って信仰する稲
荷神社や天満宮などの御神札を神棚に祀る方も多くいらっしま
す。家庭や会社などの神棚ではなく屋敷内、敷地内に鎮座するお社
を邸内社といいます。

①の株式会社アルシエの氷川神社は、同社ビルの屋上に鎮座し商
売繁昌、方位除けなど祈願し祭典を行っておりますが、一般の方の
立ち入りは出来ません。

②の大宮市場の中に鎮座する氷川神社では市場内の安全祈願と各
店舗はもとより市場全体の商売繁昌が祈られます。また、神社脇に

は「魚影」と刻した慰霊碑を建て
慰霊祭を行っております。

③の株式会社桐徳が祀る稲荷神
社は、御本社と同じく初午祭を例
祭として行っています。

④の日本製罐株式會社では、例
年十一月に稲荷祭を斎行していま
す。

⑤の北西酒造株式会社では松尾
神社と稲荷神社を祀り、あわせて
酒造に欠かせない真清水に感謝を
捧げ、御井の神を祀っています。



結婚式の御相談は結婚式御用部で承ります。八月の婚礼展示会(模擬挙式、新規御相談会)の御案内はホームページを御覧下さい。



第二十七号は十月十五日発行予定です



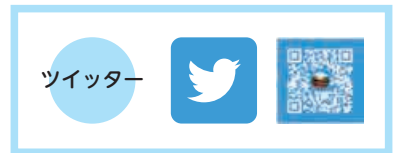
「納嘗利」

最新のお知らせはホームページ、SNSで御案内致します。

令和6年正月に御奉仕頂く助勤者の説明会は8月27日に実施予定、特別紙朱印「納嘗利」は10月14日授与開始予定です。

正月助勤説明会

- ・日程 8月27日(日)
午前10時～ 男子
午後1時～ 女子
- ・会場 呉竹荘



発行 令和5年7月15日 発行所 氷川神社社務所 印刷所 株式会社 秀飯舎
写真協力 高円寺氷川神社 宮野信昭 中村写真館 工藤裕之

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <https://musashiichinomiya-hikawa.or.jp>